

川崎医療福祉大学創立30年記念特集



**データから異変を見抜き
診断・治療をアシスト**



臨床検査技師
下白石 真奈さん
川崎医科大学附属病院勤務
2021年卒

臨床検査学科

即戦力として活躍できる臨床検査技師を育成するため、1年間、徹底的に臨床実習を行います。5~6人の小グループに分かれ、臨床検査に関わる12部署をローテーションで体験。検査に加えて、臓器の切り出しや病理解剖の見学、また採血なども経験します。あわせて患者さんへの接し方や、社会人・医療

福祉人としての心構えを身に付けます。

また昨年、学内に「自動分析装置」を導入しました。臨床現場では体験できない、研究開発という視点からも教育を行います。さらに今年度から、大学院医療技術学研究科に「臨床検査学研究コース」を設置。研究者・教育者を育成します。

[その他の取得可能な資格]

- 中級バイオ技術者 ●心電図検定 ●健康食品管理士 ●第2種ME技術者

病気の有無や状態を調べる検査を「臨床検査」と呼びます。これは医師が診断を下したり、適切な薬剤の量を決めたりする上で極めて大切なものです。この臨床検査を行うエキスパートが、臨床検査技師です。臨床検査は主に2種類に分けられます。一つは、患者さんの血液などを採取して成分を調べたり、細菌や

ウイルスを探す「検体検査」。2つめは、超音波などを使って患者さんの体を直接調べる「生理検査」です。採血などを通じて患者さんと接する機会が多いいため、高度な知識と技術に加えて、思いやりとコミュニケーション能力が必要な職業です。近年では、民間の臨床検査センターで働く人も増えています。

**運動を通じて健康をつくる
スペシャリスト**



健康運動指導士
矢島 大樹さん
川崎医科大学附属病院勤務
2004年卒

健康体育学科

豊富な現場経験を持つ教員たちから、さまざまな運動種目の指導方法を学ぶことができます。また、指導に必要な測定評価や、現場での安全管理の方策なども身に付けています。

さらに、希望する進路に合わせて、健康増進施設やフィットネスクラブ、医療機関で現場実習を行います。実習を通して、実際の業務に必要な知識・技術を定着させるとともに、社会人として必要なコミュニケーション能力を培います。

【その他の取得可能な資格】
●救急救命士(国家資格)* ●中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育) ●健康運動実践指導者 ●養護教諭一種免許状 ●特別支援学校教諭一種免許状

*2022年4月養成コース開設予定

健康運動指導士とは、健康づくりのための運動プログラムの作成や指導を行う専門家のこと。対象者の体力や健康状態は一人ひとり異なるため、それぞれに合わせたプログラムを作ることが大切です。また、運動が継続できるように、生活習慣や生活環境、さらに趣味や性格などを丁寧にヒアリングして最適なサポートを行ふことも重要な職務です。

活動の場は広く、フィットネスクラブや健増施設などでインストラクターとして働くことで、高齢化が進む今、健康寿命の延伸を期待され、ニーズが高まっている職種です。

川崎医療福祉大学創立30年記念特集

「医療福祉」の未来はここから 医療福祉人育成の実力

医療技術学部

川崎医療福祉大学(倉敷市松島288)は、国内初の医療福祉大学として1991年に開学し、現在5学部17学科を有しています。そのうち、医療技術学部では、医療・保健・福祉の分野で、医療技術に基づく検査や治療、医療機器の管理、また栄養や運動の指導を担当する専門職業の人育成。専門的知識と技術を身に付け、実践力のある人間性豊かな人材を育成しています。



診療放射線技師
田口 彩美さん
川崎医科大学附属病院勤務
2021年卒

画像検査と放射線治療の プロフェッショナル

診療放射線技術学科

講義、実験を通して十分な知識を身に付けた上で、最新設備を備えた川崎医科大学附属病院、川崎医科大学総合医療センターで約8カ月間にわたる臨床実習を行います。そこで実践的な知識・技術を修得するとともに、患者さんを最優先に想う精神を培います。またこの職種は、最先端の画像診断機器を

取り扱うとともに、医療における放射線管理の専門家として安全を確保する義務があります。目まぐるしく進む技術の進歩に遅れることなく正確に対応し続けられるよう、継続的な学習習慣を身に付けます。

[その他の取得可能な資格]

- 第一種・第二種・第三種放射線取扱主任者 ●エックス線操作業主任者
- ガンマ線透過写真撮影作業主任者 ●核燃料取扱主任者



管理栄養士
渡邊 希さん
川崎医科大学総合医療センター勤務
2014年卒

**「食べる」を科学し、
命を守る医療を支える**

管理栄養士は、食を通して健康をサポートする国家資格です。医療福祉の現場で働く管理栄養士は、患者さんの病気の治療や重症化の予防を目指し、一人ひとりの症状に合わせた食事の提供や栄養指導を行っています。適切な栄養管理のために、本人やご家族への聞き取り、またカルテの情報などを通じて、患者さんの身体状況と栄養状態を正確に把握します。さらに、病棟や外来のカンファレンスにも参加し、医師やメディカルスタッフと連携しながら活動しています。

医療・福祉施設以外でも、行政・学校・保育園・調剤薬局、食品企業などで、幅広い年齢の人々の健康を、食べることを通じて支え続けています。

臨床栄養学科

本学科の学外実習では、糖尿病や腎臓病といった病気に合わせた栄養管理を実践的に学ぶことができます。学生は、管理栄養士立ち会いのもとでカンファレンスに参加し、カルテから患者さんの情報を得ながら、栄養ケア計画を立案。患者さんへの栄養指導なども行います。また、給食経営管理も体

験。卒業後ただちに役立つ知識と技術を修得することができます。



臨床工学技士
白髪 裕二郎さん
川崎医科大学附属病院勤務
2011年卒

生命維持管理装置を扱う 「いのちのエンジニア」

臨床工学技士とは、生命維持管理装置の操作や保守点検を中心とする業務をする。医療機器のスペシャリストです。たとえば、肺機能の代わりを務める「人工肺装置」、また腎臓の代わりに血液をきれいにする「血液透析装置」などを扱います。現代医療において、こうした機器はもはや不可欠なもの。これらの機器が正常に機能し、正しく操作されることは、安全かつ効果的な治療が可能になります。技術の進歩に伴って、医療機器も高度化と複雑化が日進歩で進む中、臨床工学技士の需要は今後ますます高まると考えられています。

臨床工学技士は、生命維持管理装置の操作や保守点検を中心とする業務をする。そのためには医療機器の種類・台数も充実しており、操作技術や知識を身に付けるのに最適な環境です。3年次からは国家試験対策を行っており、合格率は全国トップクラス。一人の学生に10件以上の求人をいただきやすく、高い就職率を誇っています。

臨床工学科

本学科では、3年次から4年次にかけて11週間(330時間)にも及ぶ臨床実習を行います。国家試験の受験資格を得るために必要な時間の、実際に2倍近く実習時間を確保することで、深く幅広い実践力を身に付けられます。また、講義においても、臨床経験豊富な講師陣によるきめ細やかな指導を受け



川崎医療福祉大学
学長
椿原 彰夫



川崎医療福祉大学
副学長
医療技術学部長
宮川 健

**最新の医療技術は
医療福祉人の手で**

本学開学と同時に設置された医療技術学部では、臨床検査技師、臨床工学技士、管理栄養士、健康運動指導士、救急救命士などを養成しています。本学部の強みのひとつは川崎学園に属する医療機関の存在です。最新の医療施設において専門職に必要な知識と技術を学べることはもちろんですが、そこで働くさまざまな職種のスタッフと接することで多職種連携について身をもって学ぶことができます。そしてもうひとつの強みは、それらの学びがすべて医療福祉の理念の上に成り立つことです。本学では入学当初より医療福祉の理念を学びます。医学的・社会的・文化的な統合的視点に立って人を理解すること、誰もが健康・安心・自由立てる社会の実現に向けて実践すること、医療福祉を実践する感性と能力を持つこと、それらを学んだ医療福祉人だからこそ、最新の医療技術でかけがえのない命を救うことができるのです。